

◎日整「匠の技」技術講習会の実施について(日整からの案内文)

(公社)日本柔道整復会は、「匠の技伝承プロジェクト」を推進し、柔道整復師の資質向上と施術技術の平準化を確保するために、2019 年から着実に歩を進めてまいりました。このプロジェクトは、各都道府県団体との連携を強化し、骨折・脱臼の施術経験が不足している若い世代の会員への技術指導と整復固定の基本技術の共有化を目指す重要な取り組みです。また、超音波観察装置の正しい取扱い技術の普及活動も積極的に行っています。2023年度からは、日整主催の学術大会の中で新たに施術技術を特化するワークショップを展開し、2024 年度以降、全国統一の方式での会員研修がスタートいたします。これは、日整と 47 都道府県が一体となり、技術の発展を図り、柔道整復術が国民医療の礎として貢献する大きなステップです。近年、柔道整復師が取り扱う骨折・脱臼の施術数は減少していますが、私たちは柔道整復伝統の技術である「無血徒手整復技術」の向上に献身し、国民の健康と安全に貢献することを使命と考えています。

講習会実施にあたり、全国 47 都道府県が一丸となって、講習会の強化実施をお願いいたします。これにより、施術技術の均一性と高度化を実現し、柔道整復師の評価を高めていただきたいと思います。何卒、ご協力賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

◎京都府・滋賀県共催「都道府県技術講習会」について

京都府柔道整復会では日整「匠の技伝承プロジェクト」の趣旨である「日整水準の構築」「全国会員施術所の平準化」「柔道整復新時代の創造」に賛同し、長尾裕次郎学術部員、今井雅浩学術部長を京都府指導者候補として日整指導者講習会に参加し、研鑽を積んでまいりました。

従来から事ある毎に令和 6 年度より「都道府県技術講習会」が開催されることはご案内してまいりました。講習会開催については、超音波エコー観察と整復固定実技の技術講習ですので、超音波エコー観察装置の確保と整復固定実技スペースの確保が 1 番の課題でした。また指導者、学術部、動画配信委員会が一体となって、メイン会場の対面開催をオンライン配信し、京都医健のご協力もありサテライト会場でも十分に技術習得できる講習会を開催できる目途が立ちました。

「都道府県技術講習会」は重点 8 部位について、年 1 部位 8 年かけて順に講習を進めることになっていて、初年度の今年は「橈骨遠位端部骨折(コーレス骨折)」のエコー観察と整復固定が講習テーマとなります。今年参加できない先生がこの部位の受講ができるのは 8 年後となりますので、できるだけ多数の先生の受講機会を確保すべく、滋賀県柔道整復師会と共催として、両府県開催の講習会に両府県の会員が受講できるように配慮いたしました。

まず、1 月 19 日滋賀主催の講習会が滋賀会場で対面開催され、京都では会館と京都医健でオンライン受講することになります。また 2 月 23 日は京都主催講習会が会館で対面開催、京都医健と滋賀会場でオンライン受講することになります。

約 4 時間の半日講習で多数の先生に実技講習を受けていただきます。柔道整復師というプロが対象の講習会なので基礎的な知識は事前課題として PDF と動画を配布しますので、必ず予習の上受講してください。受講認定は①エコーと②整復固定の実技評価で行うのが原則ですが、今年度は実技評価を行わず、事前課題と講習参加、レポート提出の 3 点で修了認定することとします。

各都道府県で順次技術講習会が開催されていますがまだ手探り状態のようで、京都滋賀共催でレベルの高い良い講習になることを期待しております。特に 40 歳代以下の会員先生方には全員ご参加いただき、柔道整復新時代の担い手となっていただきますようよろしくお願いいたします。